**二科会写真部事務局長　米山悦朗先生**

　　　　佐々木聡写真集「出雲の国」～追憶～について

**出雲は、「神話の国　出雲」といわれています。この出雲には「古事記」などに記されている神話の舞台が数多くあります。斐伊川とヤマタノオロチ退治の伝説、出雲の国譲りの神話などもその一つです。また、出雲には古くから受け継がれてきた多くの祭りや伝統文化が継承され、この出雲を舞台とした神話と共に往来の様子を今に伝えています。そして、明治時代においては、松江に赴任し出雲にも訪れたラフカディオ・ハーンが、「日本の面影」や「怪談」の中で日本人の美質や出雲の生活の中に息づく永遠の日本の姿と異界を著書に表しています。**

**出雲には、伝承された祭りや多くの伝統文化があります。そこで暮らす私たちは、美しい自然と人情味あふれる人々、古からの息づかいによって、神話や古事記の世界が身近なものとして感じながら時代を超えて共生しています。そして、出雲の伝統文化とその気配は、出雲に住む私たちにとって身近にある古の追憶となっています。**

**私は、二十歳の時に写真をはじめました。それから４０数年になります。その間、生涯の師と仰ぐ川本貢功先生、故植田正治先生はじめ多くの先生方に出会い「写真の心」を学ばせていただいています。「写真とは、記録することだけではなく、何をいかに見たかを表現するもの」、時代を超えて語り継ぐ「心の手紙」、「生きた証」となることも学ばせていただきました。**

**私は出雲に住むものとして、「神話の国　出雲」の気配や追憶の印象を写真集「出雲の国」～追憶～としてまとめました。ぜひとも、ご高覧頂けましたらと願っております。**

|  |
| --- |
| **〒６９３－００２２****島根県出雲市上塩冶町2552－32****TEL（FAX）0853－25－1388　　携帯　090－7370－6382****二科会写真部会員　　　佐々木　聡** |